八街市の財務状況把握の結果概要

診　断　結　果　（償還確実性）　　令和4年度

	債務償還能力（①、②、③）			資金繰り状況（③、④）
指標	① 実質債務月収倍率 （実質債務※1 ÷ 行政経常収入÷12）	② 債務償還可能年数 （実質債務※1 ÷ 行政経常収支※2）	③ 行政経常収支率 （行政経常収支※2 ÷ 行政経常収入）	④ 積立金等月収倍率 （積立金等残高※3 ÷ 行政経常収入÷12）
留意事項なし	8.8か月 18.0か月未満	8.0年 15.0年未満	10.0%以上	3.0か月以上
やや留意	18.0か月以上 24.0か月未満	15.0年以上	10.0%未満 9.1% 0.0%超	3.0か月未満 2.2か月 1.0か月以上
留意	24.0か月以上		0.0%以下	1.0か月未満

	債務系統	収支系統	積立系統
〔財務上の留意点〕	債務高水準	収支低水準	積立低水準
〔診断基準〕（市区町村）	(1) ①が24か月以上 または (2) ①が18か月以上、かつ、②が15年以上	(1) ③が0%以下 または (2) ③が10%未満、かつ、②が15年以上	(1) ④が1か月未満 または (2) ④が3か月未満、かつ、③が10%未満
	該当せず	該当せず	(2)該当

〔診断結果〕

- 債務償還能力 ➡ 留意すべき状況にない
- 資金繰り状況 ➡ 留意すべき状況にある

※1　実質債務＝地方債現在高＋有利子負債相当額－積立金等
　　有利子負債相当額＝債務負担行為支出予定額＋公営企業会計等資金不足額等
※2　行政経常収支＝行政経常収入－行政経常支出
※3　積立金等残高＝歳計現金＋財政調整基金＋減債基金＋その他特定目的基金

令和10年度の見通し（令和4年度との比較）

実質債務			行政経常収支	
減　少			減　少	
地方債現在高	有利子負債相当額	積立金等残高	行政経常収入	行政経常支出
減　少	横ばい	減　少	減　少	増　加